

## 横浜市の持続的な発展に向けた

# 令和4年度予算のポイント

3月23日、令和4年度の当初予算が成立しました。改めて、新年度における様々な事業がスタートします。中長期の財政推計で収支不足が見込まれる中でも、感染症対策をはじめ今進めるべき政策は山積しています。

### すべての子供たちの未来を創るまちづくり 予算規模:2622億円

- 放課後の居場所づくり 放課後キッズクラブ及び放課後児童クラブで、看護師等の配置や事務負担軽減のための支援を行い、質の維持・向上に取り組む。
- 児童虐待対策の充実 子ども家庭総合支援拠点を全区に展開し、相談支援機能の更なる強化・充実を図る。鶴見区に新たな児童相談所を設置。

### 誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり 予算規模:917億円

- 感染症拡大防止と医療提供・療養支援体制、救急医療体制の確保 ワクチンの追加接種を進め、相談対応を担うコールセンター等への支援、検査自己負担分の助成を進め、新たに外来拠点を確保する。
- 障害児・者支援の充実 障害児・者やその家族が利用できる福祉サービスを、より簡単かつ気軽に入手できるよう、新たにアプリでの情報発信を実施。多機能型拠点の整備(4か所目)を進め、医療的ケア児・者等コーディネーターを中心に関係機関との連携や地域での受け入れを推進。

### Zero Carbon Yokohama(ゼロカーボン横浜)の実現 予算規模:70億円

- 横浜市地球温暖化対策実行計画の改定 まちづくりと脱炭素が一体となった再エネの地産地消、CO<sub>2</sub>排出削減効果を見える化することなどにより、再エネを活用した地域課題の解決や市民・事業者等の自主的な脱炭素のに向けた行動を後押し。
- プラスチック対策・食品ロスの削減 令和4年4月施行の「プラスチック資源循環法」の趣旨を踏まえ、新たなリサイクルの検討を進める。食品ロスの削減に向けて、事業者や国際機関と連携して消費者の削減行動につながる広報啓発等を行う。

### 力強い経済成長の実現と賑わいあふれるまちづくり 予算規模:1740億円

- 中小企業・小規模事業者支援、商店街振興 事業継続に向けた「新型コロナウイルス特別資金」等の実施や、デジタル化後押しへの設備導入経費助成を行う。商店街での消費喚起策に取り組み、来街者にとって安全・安心な買い物環境を整備。
- 文化芸術・スポーツの推進 横浜美術館の改修工事を進め、「横浜音祭り」を開催する。第3期横浜市スポーツ推進計画の策定を進め、大規模スポーツイベントの誘致・開催を支援。

### 持続可能な郊外部のまちづくり 予算規模:212億円

- 地域交通の維持・充実 公共交通の根幹、バスネットワークの維持や地域内の移動手段の確保へ、総合的な検討を進める。

### 成長と活力を生み出す都心・臨海部のまちづくり 予算規模:40億円

- 関内・関外地区の活性化の推進 関内駅周辺、北仲通周辺等の拠点づくりや、地元や企業と連携したまちづくりを進める。
- エキサイトよこはま22の推進 横浜駅周辺の民間開発の推進、防災の取組や地域団体と連携したまちづくりを進める。

### 花・緑・農・水の魅力あふれる都市づくり 予算規模:166億円

- 国際園芸博覧会の開催に向けて 4年度は国や博覧会協会と連携して、認知度の向上及び気運の醸成を図るための広報PRを進める。
- 公園整備 地域のニーズを反映した公園の整備や改良を進め、都市における快適な緑の空間を創出する。

### 災害に強い安全・安心な都市づくり 予算規模:390億円

- 大雨等への対策 河川改修を進め治水機能を確保。がけ地の改善に取り組む所有者等へ工事費用の補助や調査を行う。

### 市民生活と経済活動を支える都市づくり 予算規模:405億円

- 神奈川東部方面線整備事業 横浜西部及び新横浜を東京都心部と直結させる「相鉄・東急直通線」の令和5年3月の開業に向け準備を進める。